



【人生のまことの成功】

本文:ルカの福音書19章1-10節/暗唱聖句:使徒の働き16章31節

説教者:鄭南哲牧師

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん! 一週間の間も元気で、守られましたでしょうか。今日はまことの成功について聖書の御言葉をとおしてともに考えたいと思います。人間であるならだれでも成功の人生を送りたいという欲望があり、このために自分たちなりに一生懸命に努力していると思います。成功の人生と言うと成功そのものを目的として考える人がいれば、平凡な生活においてそれなりの生きがいを感じながら生きている人々もあります。するとまことの成功、まことに成功の人生とはなんのでしょうか。ところが、こんにち、成功を勘違いしている人々が大勢いると思います。

1. 成功を勘違いしている人々

多くの人々は成功を金、権力、名誉、良い学校、職場、出世だと思っています。しかし、自分は成功したと思うかもしれませんが、実際にはそうでない人々が多くあります。アメリカ人を対象に‘個人的成功の基準’をリサーチした結果一番多かった答えはなんだと思いますか。1位が健康、2位は楽しく働ける職業、3位は幸福な家庭、4位は良い教育、5位は心の平安、6位は良い友達でした。みなさん。はたしてこれらは成功の基準となれるのでしょうか。学歴が成功の全部ではありません。勉強ができるという成功したのではありません。世界的物理学者だったアインシュタイン(Albert Einstein)もチューリヒ工科大学に落ちた経験もありました。世界的企業家であるカーネギー(Andrew Carnegie)、イギリスが生んだ世界的な俳優であるチャールズチェプリン(Charles Spencer Chaplin)、世界的小説家であるディキンズ(Charles John Huffam Dickens)やマークトウェイン(Mark Twain)、画家モーネ(Claude Monet)、劇作家ショーンオクケーシーなどは小学校さえも出ませんでした。自動車の王と呼ばれているヘンリーフォード、作曲家ジョージゴースウイン、小説家ジャークロンドン、映画の俳優スティーブマククイン、画家モディリアニ、世界最初の飛行士ライト兄弟などはみんな中学校中退者だったそうです。つまり、人生の成敗はある試験の合格の可否とは関係ありません。人間の幸福は大学卒業の修了証や華麗な活躍ではありません。人生の成敗と幸福とはどんな価値観をもっているかによります。

お金が多いからとかならず成功するわけでもありません。みんながそうではないけれど、大企業の社長が、幹部が自殺したり、憂鬱症で苦しんでいたりするニュースはあまり特別なニュースにはならない時代となりました。お金が多いから人を不信したり、却って不安である人もいくらでもたくさんいます。世間の人々からの人気と名誉を手に入れたとしてかならず成功わけでもありません。もしそうだとしたら、芸能人たちが一番幸せな人生を過ごすべきですが、みなさんも御存知のようにどんな職業分野よりも芸能界で働いている人たちがこそ離婚、自殺、人間関係忌避症、鬱(うつ)などで悩んでいる人たちが多いのではないのでしょうか。世の権力を手に入れたとして成功した人生とも言えません。政治家たちの姿はそんなに幸せそうにも、成功して満足している人生のようにも見えません。ただどうすれば、誠に国民に仕えるより自分たちと政党の権力維持や奪還(だっかん)に執着しているようにしか見えていませんか。

2. 人生の成功のため必死であった収税人長のザアカイ

今日みなさんにある一人を御紹介したいと思います。みなさんにもよく知られているザアカイという人です。ザアカイはエリコという町の(ぜいむちょう:収税人のかしら)だと呼ばれました。当時エリコは有名な香料(こうりょう)の生産地だったので、税金による収入がどんな地域よりも多く出た地域でした。そういうわけで、当然 税務長だったザアカイは財力も、名誉も十分に持っていました。ところが、ザアカイは不幸な人でした。実はその当時社会制度上、収税人という仕事はお金と権力の出世の近道である職業でしたが、そんなにあこがれの職業ではありませんでした。なぜなら当時人々にとって収税人を売国奴(ばいこくど)か、たけだけしい毒蛇(どくへび)のように扱われたからです。当時収税人についてはやっていたことわざがありました。“山には獅子がいるし、荒野には毒蛇がいる。町内には収税人がいるのだ。”

収税人たちはローマの指示を受けて同族のイスラエルの民たちに税金以上のお金を容赦(ようしゃ)なく奪い取ったからです。そのため収税人たちは暴悪に振舞わなければなりません。そのおかげで自然に彼らはお金を儲ければもうけるほど、恨みを抱いた人々からの延声(うらみ)も高くなっていったはずです。そんな収税人たちの中でもザアカイはかしらだったので、どれほど人々は彼を憎み、恨んでいたのか十分分かって来ます。

しかし、ある意味で、お金、出世、りっぱな家などすべての物を手にいれたザアカイでしたか、彼にはそれだけではなかったかも知れませんが、一つのコンプレックスを持っていました。何でしたか。みなさん! そうです。彼は背がとても低かいということでした。それで、‘背低いザアカイ’だとよく言われたほどだったようです。多分この人は自分の背が他の人よりも全然低かったため自分の中では多くのストレスと傷を抱いていたと思います。それで、ザアカイは他の人々と自分を比較しながら、自分のおもてだけを見て、自分を無視したり、自分を低くさせる人々を憎み、その憎みが憎悪(ぞうお)になり、人々に仕返ししたという気持ちで一杯だったかも知れませんが、それで純潔という意味を持っていたザアカイは自分の名前通りに生きるのをやめて、町の人々を復讐する道を選んだと思います。

‘そうや、人々に仕返しできることはただ、財力を持つことしかない、彼らよりもっと出世して高い立場と名誉を持てればできる!’と考えたと思います。そんな彼にはどんな仕事をするかより、ただお金をもっとたくさん儲ける仕事なら、どんな仕事してもかまわない気だったと思います。それで彼は結局人々を苦しませながら、お金を儲けることもできる収税人となり、血も涙もなぐだれよりも熱心に人々から無理やりにお金を奪い取った結果ついに彼は収税人のかしらまでになったわけです。

自分が目標した通り、目指した通りに必死に金も名誉も、出世も手にいれ成功した人生だと思いこんでいたと思います。みんな言わないけど、自分なりのコンプレックスを持って生きています。ある人は言えないし、見せないけれどもそれぞれ傷や悩みもあります。そして、ザアカイのように人は自分なりに成功した人生はこれだという基準を作ってそれを必死に目指して生きています。私たちの中でもザアカイのような考え方や生き方を持っていらっしゃる方はいませんか。実際大体この世の人々はザアカイのような考え方や価値観を持って生きるのが当たり前かも知れません。現実的にそれが成功した人生だと思ひこんで人が多いのではありませんか。

しかし、今日の御言葉には直接書いてないですが、一つ推測できることがあります。ザアカイは収税人長になってから、続けてお金が積み重なって行けば行くほど、彼の心は空しくなり、いつの間にか自分の周りには自分のための人はだれもないような孤独感や疎外感に襲われ、うなされていたようです。彼は人の成功、幸せは、金や人々からの得られる名誉にあるのではない、自分の所有する物質を多く持っているか、少なくとも次第に持っているのではないことを決して知らなかったのです。彼は願ったほどのお金は手にいれましたが、今の自分の人生を振り返って見ると、耐え難い空しさや不幸の自分に直面していました。

3. 真の人生の成功は何でしょうか。

相対性(そうたいせい)原理を創案(そうあん)した世界的な物理学者であったアインシュタイン(Albert Einstein)はこのような言葉を残しました。“成功しようとする人になろうとしないで、価値ある人になれ。”

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

まことの人生の成功は自分がこの世に生まれ、生かされている目的と、自分が存在する目的を悟り、生きることです。

自分は一体誰のために、何のために生きるべきなのか人生の意味を探した人のみが成功した人生を送ることができると思います。我らの人生はいったいどこから来て、どちらに向って行くのか、そして、この人生が終わったら、それでもうおしまいに伽なるのか、その後はどうなるのかについて知らなければなりません。だれが私をこの世に送ったのか、私は何のために生きるべきなのかを知らなければなりません。

聖書の御言葉に“**というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメ。**”

4. 真の人生の成功は創造主なる神様と出会えることによって得られます！

イエス様は我々の創造主なる神様であられ、我らの罪を赦され、救うことができになる神様です。収税人長であったザアカイはたとえお金がたくさんあり、素敵な家に住んでいたとしても、彼の心には平安と喜び、人生の真の満足がありませんでした。そんな彼の人生は決して成功したような人生じゃありません。却ってただ必死に生きて来た結果、彼の心には罪責感と罪意識に満たされていたからでした。罪が心の中に占めていると、真の幸福、人生の真の喜び、感謝、満足、平安を経験することができなくなります。

そんな空しい日々をすごしていたザアカイにイエス様がもうすぐエリコの町を通り過ぎるようにあるというわさが伝わってきました。ザアカイは一度もイエス様と出会ったことはありませんでしたが、うわさはよく聞いてましたので、よくその方がどんな方なのかは知っていました。イエス様がどれほど愛の深い方であるか、罪人たちと貧しい人々、疎外された人々の友となって下さる素晴らしい方であり、人の罪を赦し、癒し、回復させて下さる霊的な権威と力を持っておられるお方であることを知っていました。そのイエス様をザアカイは切に会いたがっていました。

そして、彼は自分のすべてをうっちゃらかしてエリコの町に出て行きました。ただイエス様を見るために回りの目は気にせず、走り出しました。イスラエルの社会はいくら忙しくても大人が急いで走ったりする文化ではなかったことを覚えると、どれほど、イエス様に会いたがっていたのか、必死に、懇切な彼の心境であったことが十分伝わって来ます。

町には大勢の群衆でもう一杯になってました。ザアカイはとても背が低かったので、到底イエス様の顔すら見ることはできませんでした。しかし、彼はあきらめませんでした。どうすればイエス様と出会えるのかだけ必死に考えていました。

今日今のこのチャンスを見逃してイエス様と今回会えないと、もう明日の自分はどうなってしまうのか不吉(ふきつ)な予感を感じたかも知れません。ちょうど近くに高いいちじく桑の木が見えました。彼は大胆にそのいちじく桑の木に登りはじめました。すぐ登らなかつたかも知れません。急いで登ろうとするため何度も滑られたかも知れません。回りの人々が自分をどういふに見ても、あざ笑っている声が聞こえても、社会的な自分の体面も関係ありませんでした。それでザアカイはいちじく桑の木に登られました。ついに離れて遠くても会いたかったイエス様の御顔が目に入りました。しかし、自分があまりにもみじめのように人間のように感じていたザアカイはまともにイエス様を見ることができず、密かに見ていたようでした。

どろこが、イエス様はちょうど通りすぎようとしながら、そのいちじく桑の木の近くで足を止めました。そして、上を見上げて、ザアカイに向ってこう語られました。“**ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日はあなたの家に泊まることにしてあるから。**”だれよりイエス様を切に捜し求めていたザアカイの魂の叫びをイエス様はすでに聞いておられたと信じます。神様は自分を切に探し、切に求める者たちと出会わせてくださると約束された通りにそのようになされました。

箴言8章17節「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に探す者は、わたしを見つける。」

今日の礼拝に来られ、共に集っているみなさん、我々には今主に向ってこのような切なる心、求める心を持っていますか。

今も意外と我々の周りには話してないけど、表せないけど、ただ頑張りズムで目の前にあることに一生懸命に働きながら人生のレースを走って来たのにもかかわらず、人生のさまざまな問題にかかわり、追われて、いつのまにかに人生の無気力な疲れや、人生の空しさや孤独を覚えたり、ある人は罪意識に捕らわれて、だれかまことの神様の存在がいらっしゃれば、今の自分を本当に助けてほしいと、本当に救ってほしいと切に捜し求めている人はどれほど多いのか分かりません。イエス様がそうされたように、我々も周りの人々からそのような魂の叫びを聞いてあげなければなりません。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの神の家族のみんさん！ですから、今回9周年VIP招待伝道集会をぜひ用いてください。今日の御言葉でザアカイが今日愛のイエス様、救いの神様、まことの神様と会えないともう明日はどうなるかわからないというような飢え渴いた心でイエスキリストと出会えることを懇切に求めたように、ザアカイのような心を持っている方々がぜひイエスキリストと出会えるように導く会の奉仕と仕えができるように、そのため今回豊かに用いられますように切にお祈り申し上げます。

ザアカイはあまりにも嬉しかったゆえ、いままでたまっていたストレス、寂しさ、疎外感、孤独感など大きな重荷が下ろされた気がしました。彼はイチジク桑の木の上から飛び降りてきてイエス様を自分の家に受け入れました。彼にも平安がおとずれました。喜びが満ち溢れました。もはや人々の言われることは気にしなくなりました。以前のようにお金や名譽がこれ以上大切ではなくなりました。なぜなら、イエス様に出会ったからです。ザアカイはイエス様に出会ってから徹底的に悔い改めなした。聖書はこのように証言しています。“ところがザアカイは立って、主に言った。「主よ。ご覧下さい。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。また、だれかれでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。(ルカの福音書19:8)”

当時律法によりと自発的に弁償しようとする者は不法的に得た金額の1/5を返すべきだという記録があります。(レビ記6:5, 民数記5:7, 出エジプト22:1, 第二サムエル12:6). ザアカイはイエス様に出会ってから徹底的に悔い改めたのです。するとイエス様は“きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。”と祝福してくださいました。イエス様はほかの人たちのように悪者とか、罪人扱いされませんでした。非難もせず、悔い改めるようにとさきに言われたわけでもありません。イエス様はただ彼の家に入られて彼を愛してくださいました。ザアカイは罪赦されました。ついに自分の存在価値を知るようになったのです。

愛する信仰の家族のみなさん! なぜ我々の心にはまことの喜びと満足がないでしょうか。それは我々はみな罪人だからです。我々は唇で罪を犯し、心の中で、思いの中で、生活において数え切れないほど罪を犯しながら生きています。一生涯の間はなおさらです。我々はこの罪の問題をかかわらず解決しなければなりません。聖書は記しています。“義人はいない。ひとりもない。”(ローマ人への手紙3:10)

そういうわけで神様は人生の罪の問題を解決するため御自分で直接この地に来られました。つまり我々ためにこの地に来られた神様がこのイエス・キリストです。神なるイエス様は旅人の我々の人生を神の国に入らせるためにこの地に来られました。そして我々の代わりに罪の代価を払って十字架にかかって死んでくださいました。十字架の上でイエス様の最後のおことばは“完了した。”でした。これは罪の代価を神なるイエス様が全部支払ってくださったという意味です。そして三日目によみがえられました。そういうわけで我々の罪をおってふたたびよみがえったイエス様を信じる人はだれでもあらゆる罪を赦されることが出来ます。ですから人生において何よりも大事なのは永遠に生きておられる神様に会って永遠の命を得、永遠の御国に入ることです。神様の子なるイエス様がこの世に来られ十字架につけられ死んで、三日目によみがえられたのはまさに人間の死の問題を解決し永遠の命を与えるためだったのです。

姦淫した現場から捕まえられて来た女に人々は石を投げ殺そうとしました。その時イエス様は“あなたがたの中で罪のない人がさきに石を投げなさい。”と言われました。良心の呵責(かしゃく)を感じた人々は全員退(しりぞ)かれました。イエス様はその女に言われました。“娘よ。わたしもあなたをさばかないのだ。わたしもあなたを赦す。行って二度と罪を犯さないように!”

どんな人であっても、どんな罪を犯した人でも、イエス様に出てくる人をイエス様はみな赦してくださいます。ですからイエス様を信じればすべての罪は赦され、救われ、御国に入る事が出来ます。聖書は約束しています。“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。”(ヨハネの福音書3:16)

“主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。”(使徒の働き16:31)

神様に会って成功した一人を紹介します。彼は世界最高の金持ちだったロックペラーです。若い頃、彼は将来が見えないということで愛していた女から振られました。そんな彼が世界的に3つの奇跡を起こしました。一つ目の奇跡は一番貧しかった彼が一番裕福になったことです。二つ目の奇跡は歴史上一番大金をほかの人々に分け与えたことです。三つ目の奇跡は長寿(ちょうじゅ)です。彼は98才まで生きる間、虫歯一つなく、健康に生きることが出来ました。彼は一度もかかさず、日曜日の礼拝に出席し、子供学校の教師として奉仕しました。彼はキャバクラのような遊び場も行ったことなく、お酒やタバコも吸いませんでした。一度もかかさず食事の時は神様に感謝の祈りをささげ、毎日聖書をかかさず読んだそうです。年老いて目があまり見えなくなっからは聖書を読んでくれる人をやとって耳で聖書を聞きながら毎日御言葉の時間を持ちました。彼は自分の唯一の望みは‘神様の御前ですばらしく正しく生きること’だとずっと言い続けたそうです。彼は神様の御前で正直で、誠実に、そして神様の御言葉によって右にも、左にもかたよらない人生を選び取ったのです。

<まとめ>

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん!

まことの成功とはこの地に遣われた目的と存在する目的を悟って生きることです。まことの成功とは我々を創造し救ってくださる神様に会うことです。その神様が今日もみなさんを愛しておられます。今回の9周年感謝VIP招待伝道集会はその神様に会い、神様の愛を経験する大切なチャンスとなるでしょう。私さえ成功すればそれで終わりではなく、私が愛している人々とともに人生のまことの成功者となるように、祈りながらその方々を神様に導こうではありませんか。人生のすべてを持っていたザアカイも実は幸せではありませんでした。一生彼を苦しめたコンプレックス、罪責感、孤独感、疎外感、空虚感(くうきょうかん)に満ちていた彼がイエス様に会うことにより新しい人生を踏み出すことが出来たように、我々もまわりのすべての人々がこのキリストにある平安の道、回復の道、救いの道を選び取り、歩めるように彼らを導かなければなりません。

みなさんはいまだれのために祈っていますか。イエス様を受け入れ宴会のような天国を味わったザアカイへの祝福が今日我々のCPC教会の家族の上にも、そして我々を通して我々が知っている人々、愛する人々の上にも等しく臨まれますように主の御名によって祝福します。アーメン!